



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 **ゲイリー C.K. ホアン**
2560地区ガバナー **佐々木昌敏**
高田ロータリー会長 **齋藤 尚明**
幹事 **牧野 章一**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第15回例会 ■ 10月17日(金)

No.14

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんばんは。高田ロータリークラブ第15回例会、今年度2回目の夜例会「お月見例会」です。

10月12日(日)はロータリーデーということで山古志へ行ってきました。

第7分区からは23人。我が高田クラブは主管の地域協働ネットワークセンター副センター長の羽深さん、第7分区ガバナー補佐の大谷さん、三井さん、アロンさん、そして幹事の牧野さんと私の6人が参加しました。2560地区全体では約350人の参加者だったそうです。

9時過ぎに受付を済ませ、稲刈り・はさ掛け体験とぶなの採取植樹組の二手にわかれての活動でした。第7分区は稲刈りはさ掛けをやりました。短い時間だからまだしも、全て人力の作業なので本格的に長時間やったら相当大変と感じました。ちなみに刈取ったお米は三宅島の小学校の給食に使われるそうです。

その後『アルパカ牧場』を見学してから昼食。終わってから元阪神タイガースの掛布雅之氏の講話があり、面白い野球の話が聞けました。チャリティーで色紙も買いました。

その後移動して山古志闘牛場へ行き、国の重要無形民俗文化財『牛の角突き』を見学しました。初めて見ましたが角が折れて血だらけになる牛もいてかなりの迫力でした。ただ勝敗をつけずに終わるのがよかったような気がします。

その後バスの一行は水没集落を見学し、今更な

がら中越地震のすごさとその被害の大きさをまのあたりにした次第です。まことに有意義な一日だったと感じました。

さてきょうはお月見例会ということで、長養館さんはいつもながらに趣向をこらしたしつらえをしてくださいました。

四隅と真中に五つの壺に入ったススキを飾り、脇床にウサギの置物、正面の床に『月見だんご』。そして掛物は京都大徳寺の大亀和尚の月に見立てた円相の絵となかなかのものです。

皆さん きょうはお月見を存分に楽しんで下さい。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君 (10/16(木)越後春日山RC ガバナー公式訪問、10/17(金)糸魚川中央RC ガバナー補佐公式訪問)

委員会報告

R地域協働ネットワークセンター

羽深副センター長——ロータリーデー開催の報告

大谷光夫君ガバナー補佐——ロータリーデー開催の報告

幹事報告

報告：10/26地区大会参加依頼



第16回例会 ■ 10月24日(金)

会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。高田ロータリークラブ本年度第16回例会です。

先週は本年度第2回目の夜例会でお月見例会でした。親睦委員会の皆さんの趣向と、長養館さんの考えられたしつらえのお陰でとても楽しいお月見の会でした。

本日の講話は『NPO法人マミーズ・ネット』の中條美奈子さんです。私も以前から存じ上げている方です。

現在、安倍総理大臣が『女性が輝く社会』を政策の柱の一つに掲げていますが、もうずーっと以前から輝いて仕事をしてこられた方です。

きょうはお話を楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

出席報告

出席率 100%

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

小林元君——明日、明後日は「酒まつり」が開催されます。是非、本町へご来場いただき地酒を楽しんで下さい。当社ブースへもお越し下さい。米山奨学委員会…寄付のお願い

幹事報告

配布物：週報No13、米山奨学豆辞典

回覧物：ガバナー月信10月号、ハイライトよねやま

報告：地区大会のご案内

11月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
18	11月7日	移動例会 新潟県立看護大学 生物医学領域 自然科学 教授 野村 憲一『高血圧について』	上越医師会館
19	11月14日	地区ロータリー財団委員会 グローバル補助金委員 岩本 剛夫君(小千谷RC) 『演題：未定』	デュオ・セレッソ
20	11月21日	松平忠輝公と五郎八姫の会 会長 日下 敏江 様 『演題：未定』	デュオ・セレッソ
21	11月28日	上越教育大学 副学長 西村 俊夫 様 『演題：未定』	デュオ・セレッソ

卓話

なぜ子育て支援が必要なのでしょう？



NPO法人マミーズ・ネット 理事長 **中條 美奈子 様**

日本で少子化が問題とされるようになってから、すでに20年が経過しました。その間にもさらに子どもたちの数は減り、上越市で生まれる子どもの数は年に1500人ほどです。推計では平成31年には1296人になるという数字も出ています。

少子社会での子育ては、今までにない苦労がある様子です。子育て家庭の数が少ないために社会の少数派になってしまいますから、どうしても肩身が狭くなります。子どもの声が「うるさい」と保育園に苦情が入る時代です。子育てしている人同士が助け合おうにも、子育て仲間は探さないと見つからない貴重な存在となってしまいました。

少子化は、地域の力も弱めています。さりげない助け合いや見守りは、子育てをしている人がある程度地域にいることで成り立ってきました。町内で誕生する子が年に数人では、自然な支え合いは生まれにくくなります。そこで、新たな地域の力として、子育て支援が必要となったのです。マミーズ・ネットは、子育て中の人同士が出会える場として「子育て応援ひろばふう」を開設し、上越密着の子育て支援情報を「With Kids NEWS」で提供しています。保育ボランティアさんなど地域での子育ての支え手を増やし、子育てしやすい上越をめざして活動しています。